

# 医療プロフェッショナルリズムⅣ

ナンバリング	M4-S1-F07
--------	-----------

責任者・コーディネーター	地域医療学分野 伊藤 智範 教授		
担当講座・学科（分野）	地域医療学分野、医学教育学分野、血液腫瘍内科分野、救急・災害医学講座、外科学講座、消化器内科分野、創薬・医療機器開発部門、リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野、放射線医学講座、呼吸器外科学講座、臨床検査医学・感染症学講座、心臓血管外科学講座		
担当教員	伊藤 智範 教授、医学部長、伊藤 薫樹 教授、高橋 学 教授、佐々木 章 教授、佐藤 洋一 名誉教授、黒田 英 克 特任教授、西塚 哲 特任教授、柿坂 啓介 准教授、鈴木 悠地 特任准教授、田村 明生 講師、重枝 弥 講師、熊谷 亜希子 講師、齋藤 大樹 助教、高橋 宗 非常勤講師、千葉 淳美 非常勤講師、鈴木 満 非常勤講師、山口 晶子 医療課長、曾根 美雪 非常勤講師、坂田 憲治 非常勤講師、本間 博 会長、藤原 裕大 非常勤講師、千田 恵美 非常勤講師、大堀 理 非常勤講師		
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 8コマ 16.0時間
期間	後期		演習 0コマ 0.0時間
			実習 0コマ 0.0時間

## ・学習方針（講義概要等）

医師免許取得後に医療人として進む道は、1つではない。臨床各科の専門医に加え、基礎医学者、社会医学者、行政職など多岐にわたる。そのいずれにおいてもプロフェッショナルとして要求される水準は高く、従って卒後は効率良くキャリアを積むことがキャリアアップに必要なようになってくる。専門医制度・学位・研究の意味について知っておくことで、自己の資質に合わせた将来像を思い描くことができるであろう。また住民の健康に奉仕すべき医療人とはいえ、医療業務の遂行に追われて個人の生活が破綻するようなことがあってはならず、ワーク・ライフ・バランスをいかにうまくとるかを考えなければならない。多彩なキャリア形成の道・学位とは・専門医とは・研究・留学、また家庭と仕事の両立に関する具体的事例について、さまざまな医師が進んできた道を聴講して、学生が将来のキャリアの道筋を描くことを目的とする。

## ・教育成果（アウトカム）

各セッションでの講義とフリートークを行うことで、学習者が主体的にキャリアを考案できるようになる。卒後の初期臨床研修と専門医制度、および大学院制度の現状を知ること、将来のキャリアアップに向けて何が重要か説明できる。研究を行う意義・ワークライフバランスの重要性・海外への進路を含めた多彩なポジションを理解できるようになる。またロールモデルを参考にすることで、キャリアアップには自由な意志決定とともに社会的制約も存在することを知り、自己の将来像を思い描き、その概要を論述できる。

（ディプロマ・ポリシー： 1,2,7,8 ）

## ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	研修制度と初期研修生活の実際を説明できる。

2	医師が行う基礎研究・臨床研究の概要とキャリアアップの上での意義を説明できる。
3	大学院で研究して、学位を取得するキャリアについて説明できる。
4	専門医制度の概要について説明できる。
5	ダイバーシティ・アンコンシャスバイアスを理解し、職場と家庭の両立・ワークライフバランスに何が必要か説明できる。
6	自分の将来像を幾通りか思い描くことができる。
7	国内外で医師のキャリアを積む方法を説明できる。
8	医師の多彩な職場を説明できる。
9	地域医療と医師会の役割を説明できる。
10	将来にわたる自己学習の重要性を理解し、医師になるための基礎知識を身につける。

・ 講義場所

講義：東2-A 講義室、東2-B 講義室、大堀記念講堂

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	10/1(木)	1	血液腫瘍内科分野 地域医療学分野	伊藤 薫樹 教授 伊藤 智範 教授	研修制度と初期研修生活の実際	1,6,7,10	【事前学修】 講義前ガイダンスにて配布する課題に取り組む。所要時間60分以上 【事後学修】 説明を受けた制度について、300字程度でまとめ、自分のキャリア選択について考える。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClassに配布資料をアップする
講義	10/1(木)	2	リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野 救急・災害医学講座 消化器内科分野 地域医療学分野 創薬・医療機器開発部門 心臓血管外科学講座 医学教育学分野	鈴木 悠地 特任准教授 高橋 学 教授 柿坂 啓介 准教授 伊藤 智範 教授 西塚 哲 特任教授 齋藤 大樹 助教 高橋 宗康 非常勤講師	第一会場：基礎・臨床研究を遂行する医師になるには 第二会場：海外で医師のキャリアを積むには	2,3,6,7,10	【事前学修】 講義前ガイダンスにて配布する課題に取り組む。所要時間 60分以上 【事後学修】 説明を受けた制度について、300字程度でまとめ、自分のキャリア選択について考える。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClassに配布資料をアップする

講義	10/1(木)	3	消化器内科分野 放射線医学講座 呼吸器外科学講座 地域医療学分野 外科学講座	黒田 英克 特任教授 田村 明生 講師 重枝 弥 講師 伊藤 智範 教授 佐々木 章 教授	第一会場：医師に ための専門医とは 第二会場：学位を取 得するとはどうい うことか	4,6,7,10	【事前学修】 講義前ガイダンスにて配布 する課題に取り組む。所要 時間 60分以上 【事後学修】 説明を受けた制度につい て、300字程度でまとめ、自 分のキャリア選択について 考える。所要時間 60分以 上 【ICT】WebClassに配布資料 をアップする
----	---------	---	--	---	---	----------	---

講義	10/1(木)	4	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	国境なき医師団・1日目のまとめ	6,7,8,10	【事前学修】 不要 【事後学修】 レポート作成作業。所要時間 180分以上 【ICT】インターネットクリッカーを使用する
講義	10/2(金)	1	地域医療学分野 臨床検査医学・感染症学講座 地域医療学分野	伊藤 智範 教授 熊谷 亜希子 講師 千葉 淳美 非常勤講師	ダイバーシティ・アンコンシャスバイアスとはなにか	5,6	【事前学修】 講義前ガイダンスにて配布する課題に取り組む。所要時間 60分以上 【事後学修】 説明を受けた制度について、300字程度でまとめ、自分のキャリア選択について考える。所要時間 60分以上 【ICT】WebClassに配布資料をアップする
講義	10/2(金)	2	医学教育学分野 地域医療学分野 福島女子刑務支所 地域医療学分野 地域医療学分野 地域医療学分野	佐藤 洋一 名誉教授 鈴木 満 非常勤講師 山口 晶子 医療課長 伊藤 智範 教授 曾根 美雪 非常勤講師 坂田 憲治 非常勤講師 大堀 理 非常勤講師	第一会場：多様な職場を知る・社医・船医・産業医・山岳医・製薬会社・保険会社・行政医官 第二会場：県外で活躍する卒業生を知る	6,7,8,10	【事前学修】 講義前ガイダンスにて配布する課題に取り組む。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義終了後に紹介されたキャリアアップ事例を100字程度でまとめる。所要時間 60分以上 【ICT】WebClassに配布資料をアップする
講義	10/2(金)	3	医学部 地域医療学分野 岩手県医師会 地域医療学分野 地域医療学分野	医学部長 伊藤 智範 教授 本間 博 会長 藤原 裕大 非常勤講師 千田 恵美 非常勤講師	地域医療と医師会の役割を咀嚼する	6,7,8,9,10	【事前学修】 講義前ガイダンスにて配布する課題に取り組む。所要時間 60分以上 【事後学修】 講義終了後に紹介されたキャリアアップ事例を100字程度でまとめる。所要時間 60分以上 【ICT】WebClassに配布資料をアップする
講義	10/2(金)	4	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	2日目のまとめ	6,10	【事前学修】 不要 【事後学修】 レポート作成作業。所要時間 180分以上 【ICT】インターネットクリッカーを使用する

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参考書	考え方-人生・仕事の結果が変わる	稲盛和夫	大和書房	2017
参考書	英語と日本語で読む武道	新渡戸稲造著、奈良本辰也訳	三笠書房	2009
参考書	女の勘 男の鈍感	姫野友美	角川文庫	2017

・成績評価方法

【総括評価】

成果物として、①今回の講義を聴講した感想、②自身の今後のキャリアの道筋、③どのような医師を目指して、これからの臨床実習を行うのかを800字以上1200字以内で論述したレポートを提出する。これを総括評価に用いる。以上のレポート（100%）により評価し、100点満点の60点以上を合格とする。

【形成的評価】

講義時間にweclassで回答して、本科目についての理解度を問う。フィードバックとして、webclassの回答が全問正解するまで行う。また、医師届出票をシミュレーションで記載して、総括評価のレポートとともに提出する。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～10	1,2,7,8		100					100
合計			100					100

・特記事項・その他

本科目は、全体講義のセッションと、2会場に分かれて聴講するセッションがある。学生は、事前に聴講するテーマを選んで、出席する会場を選択する。それぞれのフリートーク時間では、学生も数名壇上に登壇して、座談会形式で進行させる。適宜会場からの質問も受け付ける。シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。講義資料はWebclassで配信する。

本科目では、事前事後学修以外に11時間の自己学修を要す。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

大堀記念講堂・講義室・SGL・PC・スマートフォン・インターネット環境・ビデオ撮影機器（会場が2つに分かれるので、それを後日聴講できるように撮影する）

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	PC画面投影装置	2	講義
講義	ノートパソコン	2	講義